

群馬県立県民健康科学大学大学院

看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）

2024年度 一般選抜・社会人特別選抜試験問題

# 小論文試験問題

群馬県立県民健康科学大学大学院

## 小論文試験問題 1 問題用紙

以下、看護研究のはじまりについて述べられた文章を読み、各問に答えなさい。

看護をどう定義するかで、その歴史のとらえ方もかわる。

国際看護師協会 International Council of Nurses (ICN) の定義のように、「看護とは、あらゆる場であらゆる年代の個人および家族、集団、コミュニティを対象に、対象がどのような健康状態であっても、独自にまたは他と協働して行われるケアの総体である」<sup>1)</sup> とするならば、看護は、傷ついた仲間にえさを運ぶ動物にさえみられるものであり、私たちの日々の生活のなかに脈々と受け継がれてきた普遍的な行為である。

その看護を著書『看護覚え書』<sup>2)</sup> のなかではじめて言語化し、看護職を専門的な職業として成立させたのは、**フローレンス＝ナイチンゲール Florence Nightingale** (1820～1910年) である。これは、看護の歴史のなかでとても重要なことであった。なぜなら、現象は言語にできてはじめてみんなで扱うことができる。そして、みんなで扱うことによって、技術的・学問的な発展が生まれるからである。

しかもナイチンゲールは、ただ看護についての自分の考えを述べたのではなかった。彼女はクリミア戦争に従軍し、野戦病院の負傷兵たちの看護を行った際、「環境を整え、人がみずから治癒する力を引き出すこと」を重視し、献身的な看護を行った。そして最新の統計学を駆使し、当初 42.7% もあった負傷兵の死亡率が彼女らの看護で 2.2% まで下がったことを証明し、看護の力を世界に知らしめた。彼女は、この経験と研究結果をもとに看護を言語化したのである。ゆえに、最初の看護研究はナイチンゲールによってなされたといえ、またその看護実践は **EBP\*** のさきがけでもあった。

[出典] 坂下玲子他 (2020) : 看護研究 第1版第8刷, 23, 医学書院, 東京. 一部改変

1) 国際看護師協会, 日本看護協会訳 : ICN の定義, 1987

(<http://www.nurse.or.jp/nursing/international/icn/definition/index.html#p2>)

2) Nightingale, F.: *Notes on Nursing: What It Is, and What It Is Not*. pp.1-79, Harrison, 1860.

[注釈]

\* EBP : evidence-based practice の略

問1 筆者が、下線部のように述べたのはなぜか、120字以内で説明しなさい。

問2 EBP の意義について、あなたの看護実践での経験を踏まえて 600字以内で述べなさい。





## 注 意 事 項 （小論文試験）

- 1 小論文の試験時間は、9時20分～10時50分です。
- 2 試験問題用紙の表紙が願書提出時の選抜区分であることを確認してください。
- 3 問題用紙は1枚、解答用紙は2枚です。下書きは用紙の余白をお使いください。
- 4 すべての解答用紙の所定の欄に、必ず受験番号・氏名を記入してください。
- 5 解答は、すべて解答用紙に記入してください。ただし、※印欄には記入しないでください。
- 6 問題用紙・解答用紙に不鮮明な部分や汚れなどがある場合は、声を出さずに手を挙げて、監督員の指示に従ってください。
- 7 試験中に質問や用便などの用件がある場合も、声を出さずに手を挙げて、監督員の指示に従ってください。
- 8 試験開始後は途中退室を認めません。
- 9 問題用紙・解答用紙・下書き用紙を持ち帰ることはできません。
- 10 不正行為や、他の受験生に迷惑となる行為をした場合は、退場させることがあります。